

令和 3 年度

「運営に関する計画」

大阪市立市岡東中学校

令和 3 年 4 月

大阪府立市岡東中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

【学校理念】

○安心・安全な学校 ○学力・体力の向上 ○人権尊重の精神

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・基礎・基本の充実に努め、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力の向上を図る。
- ・自らを尊重し、互いに違いを認め合い、他社へ思いやりの心を育て、人権尊重の精神を養う。
- ・基本的な生活習慣を身につけ、たくましく生きる力の基礎を育み、健康で活力ある学校生活をおくる生徒を育成する。

【大阪府立市岡東中学校 教育目標】

- よく聴き、よく見つめ、よく考えて正しく判断できる生徒になろう。
- 協力し、自主的にものごとにとりくみ、やりぬく生徒になろう。
- 心身ともに健康な、たくましい生徒になろう。

【生徒努力目標】

- ・時間を大切にしよう
- ・学校を美しくしよう
- ・あいさつをしよう

現状と課題

- 不登校生の増加の要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症があげられる。特に昨年度の1年生は、中学校生活になじめないうちに中学校のカリキュラムを進めていったことが年度末まで響くことになった。学習(授業時間数の確保)を優先することも大切ではあったが、一人ひとりの生徒を見つめながら、集団作りを行うことの大切さを身に染みて感じているところである。あらためて、生徒を中心に据えた保護者との連携をやり直す必要がある。
- 昨年度までに「寝ない授業」、授業開始の際に「本時の目標(めあて)」を提示することを実践してきた。まだまだ「本時の目標」を毎時間提示することができていなかったが、教職員が1単位時間の内容・進め方を意識することにより、生徒の授業内容定着が見られてきている。しかし、アンケートの結果、まだまだ「授業に集中している」生徒を増やせる余地があるように思うので、より高い結果が導かれるよう、今年度は「本時の目標」だけではなく、「本時の振り返り」にも力を入れていきたい。
- 校舎長寿化工事の影響で、昨年度当初、生徒の学習環境はいい状態ではなかった。その中でも生徒は丁寧に清掃を行っており、アンケートの結果とともに、生活指導上もいい結果を導いていたように思える。また、令和3年2月に工事が完了し、大変きれいな校舎に生まれ変わったことから、今後は生徒自身がこの美しさを維持する大切さを理解し、より落ち着いた生活環境・学習環境を作り出していく必要がある。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和３年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 100%にする。
- 令和３年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 75%以上にする。
- 令和３年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を平成 29 年度末の校内調査より減少させる。
- 令和３年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成 29 年度末の校内調査より減少させる。
- 令和３年度末の校内調査における「学校での生活が楽しい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 75%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける対府平均比を、平成 28 年度より向上させる。
- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 4 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 3 ポイント減少させる。
- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 3 ポイント増加させる。
- 令和３年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成 28 年度より増加させる。
- 令和３年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題であるシャトルラン、50m走、立ち幅とびの平均の記録を、平成 28 年度より 3 ポイント向上させる。
- 学力の基礎となる読解力を向上させるため、読書活動を推進し、図書室を週 8 回以上開館する。
- 令和３年度末の校内調査における「授業の内容がよく理解できる」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 75%以上にする。
- 令和３年度末の校内調査における「家庭学習を習慣的に行っている」の項目について、「当てはまっている(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 75%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「学校の清掃が行き届いている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。
- 校内調査において、「学校をきれいに保つために積極的に清掃活動に参加している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

- 中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

- 校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
- 校内調査において、「授業の内容を理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標

学校園の年度目標

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標

学校園の年度目標

大阪府立市岡東中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。</p> <p>○校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○校内調査において、「学校の清掃が行き届いている」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>○校内調査において、「学校をきれいに保つために積極的に清掃活動に参加している」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を 80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【施策 道徳教育】（人権・道徳委員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活のさまざまな場面を通じて、人間尊重の精神を培う。 ・各学年とも、道徳の教科書を積極的に活用し、実践を記録する。 ・1年に一度、道徳の公開授業を行う。 <p>指標 1年に一度、道徳の公開授業を行う。</p>	
<p>取組内容②【施策 特別支援教育】（特別支援教育委員会）</p> <p>個に応じた指導・支援のあり方を工夫する。</p> <p>指標 学期に一度、全体研修会を実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策 基本的な生活習慣の確立】（生活指導部）</p> <p>時間励行・挨拶の習慣付け、正しい言葉遣い、正しい服装の指導をおこなう。</p> <p>指標 学校アンケートで、服装や時間を守るなどのルールを守っていると答える生徒の割合を 90%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策 規範意識の育成】（生活指導部）</p> <p>校則と集団生活でのマナーを習得させる。</p> <p>指標 学校アンケートで、学校の決まりを守っていると答える生徒の割合を 90%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【施策 生活指導上の課題への対応（生徒理解）】（生活指導部）</p> <p>家庭訪問、教育相談を中心に、生徒個々の実態を把握し、生徒理解を深める。</p> <p>指標 学校アンケートで、困ったときに相談できる先生がいると答える生徒の割合を 1 回目より 2 回目で向上させる。</p>	

<p>取組内容⑥【施策 生活指導上の課題への対応（不登校問題）】（生活指導部）</p> <p>スクールカウンセラーと連携し、当該生徒個々の実態に応じた対策を講じる。</p> <p>指標 不登校傾向にある生徒に寄り添い、保護者との連携を深める。</p>	
<p>取組内容⑦【施策 安全教育】（生活指導部）</p> <p>地震、津波、火災等を想定した避難訓練を実施する。</p> <p>指標 避難訓練を年間２回実施する。</p>	
<p>取組内容⑧【施策 健康な生活習慣】（健康教育部）</p> <p>保健委員会活動や保健指導を通し、生徒の健康意識を高める。</p> <p>指標 自己の健康課題に向き合えるように促し健康意識を高め、検診後の受診勧告の未受診率を減少させる。</p>	
<p>取組内容⑨【施策 性教育】（健康教育部）</p> <p>年間指導計画の元、各学年の現状に沿った指導を実施する。</p> <p>指標 各学年で１回性教育を実施する。</p>	
<p>取組内容⑩【施策 環境整備】（健康教育部）</p> <p>整美委員会活動や、定期的な点検により、校内美化の意識を高める。</p> <p>指標 アンケートで学校の清掃が行き届いていると答える生徒の割合を８５％以上とする。</p>	
<p>取組内容⑪【施策 研修計画】（教務部）</p> <p>全体研修を計画し、全職員が参加できる体制をつくる。</p> <p>指標 生徒の安心安全にかかわる研修会を年間１回実施する。</p>	
<p>取組内容⑫【施策 安全で安心できる学校、教育環境の実現】（第１学年）</p> <p>学年目標『メリハリをつけ、お互いを理解し協力しながら学べる』集団をつくる</p> <p>指標 学年目標を意識させ、達成度（アンケート結果）を学期ごとに上げていく。</p>	
<p>取組内容⑬【施策 安全で安心できる学校、教育環境の実現】（第２学年）</p> <p>日々の教育活動を組織的に取り組み、規律を重んじ、社会性を身につけた集団育成を行う。</p> <p>指標 校内調査における、「規則」、「服装・時間」「あいさつ」の項目において「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を８０％以上にする。</p>	
<p>取組内容⑭【施策 安全で安心できる学校、教育環境の実現】（第３学年）</p> <p>① 基本的な生活習慣「気持ちの良いあいさつ」「時間・ルールの厳守」の定着を図る。</p> <p>② 道徳の授業や普段の学校生活を通して、思いやりと感謝する心を養う。</p> <p>指標 ①生徒アンケートの「規則」、「服装・時間」「あいさつ」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を９０％以上にする。</p> <p>②学年アンケートの「思いやり」「感謝する心」に関する項目において、肯定的に答える生徒の割合を８０％以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <p>全市共通目標</p>	
<p>学校園の年度目標</p>	

【取組内容】について

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭

次年度への改善点

【目標設定】について

【取組内容】について

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭

大阪府立市岡東中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である50m走、立ち幅とびの平均の記録を、前年度より向上させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○校内調査において、「自分は毎日授業に集中することができている」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○校内調査において、「授業の内容を理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 よくわかる授業の実施】（教務部）</p> <p>教科の特性を活かし、よくわかる授業を積極的に行う。</p> <p>指標 学校アンケートで授業の内容が理解できていると答える生徒の割合を1回目より2回目を向上させる。</p>	
<p>取組内容②【施策 授業展開の工夫】（教務部）</p> <p>主体的、対話的で深い学びができるようICT機器を活用するなど、生徒が主体的に学習する授業を展開する。</p> <p>指標 学校アンケートで自分は毎日授業に集中することができていると答える生徒の割合を1回目より2回目を向上させる。</p>	
<p>取組内容③【施策 授業研究】（教務部）</p> <p>年間を通して、校内研究授業（研究討議を含む）を行い、授業力の向上に取り組む。</p> <p>指標 年間を通じ、校内研究授業を1人1回実施する。</p>	
<p>取組内容④【施策 特別活動】（教務部）</p> <p>さまざまな体験学習や鑑賞などを実施し、豊かな感性を育てる</p> <p>指標 アンケートで行事は楽しみであると答える生徒の割合を80%以上にする。</p>	

<p>取組内容⑤【施策 食育】(健康教育部)</p> <p>食生活の見直しや自己管理ができるよう、食育通信の発行や食育キャンペーンの実施により、食生活への関心を高めさせる。</p> <p>指標 好き嫌いなくバランスの取れた食事ができるよう、給食の残食率減少を促す。</p>	
<p>取組内容⑥【施策 図書館の活性化】(図書館担当)</p> <p>学校図書館の活性化を図り、読書活動を推進する。</p> <p>指標 図書館の開館を週8回以上行う。</p>	
<p>取組内容⑦【施策 地域人材の活用】(教務部)</p> <p>学校元気アップ事業を活用し、自主学習会を実施する。</p> <p>指標 定期テスト前や放課後、長期休業中自主学習会で、平均週2回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑧【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(第1学年)</p> <p>放課後学習や長期休暇中の学習会を行い、学力の定着を図る。</p> <p>指標 テスト前の放課後や長期休暇中で年間10日以上学習会を実施する。</p>	
<p>取組内容⑨【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(第2学年)</p> <p>集団として授業を集中して受けることができる空間(環境)づくりを行う。</p> <p>指標 校内調査における、「授業に集中」、「内容理解」の項目において「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑩【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(第3学年)</p> <p>日々の授業や放課後学習会を通して、一人一人の学力向上を図り、自分の進路を決定させる。</p> <p>指標 生徒アンケートの「授業への集中」、「授業の内容理解」の項目において、肯定的に答える生徒の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑪【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(国語科)</p> <p>知識・語句のテストを実施し、基礎学力の定着を図る。表現力の向上を図る。</p> <p>指標 知識・語句のテストを1/2以上行う。表現指導を年間5回以上実施する。</p>	
<p>取組内容⑫【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(社会科)</p> <p>・生徒の興味・関心を高める授業や教材を工夫するとともに、基礎、基本の定着を図る。</p> <p>・グループによる協同学習に取り組み「主体的で、対話的で深い学び」の実現を目指す。</p> <p>指標 授業内でICTを80%以上使用する。</p>	
<p>取組内容⑬【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(数学科)</p> <p>ICT機器やプリント教材等、多様な授業形態を試み、数学への興味・関心を高め、学力の定着を図る。</p> <p>指標 授業アンケートで、「授業の内容がよくわかる」の項目について肯定的に答える生徒の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑭【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】(理科)</p> <p>自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、科学的に探究するために必要な観察、実験などを行い、学力の定着を図る。</p> <p>指標 各学年、年12回以上理科室を使用した観察・実験を行う。</p>	

<p>取組内容⑮【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（英語科） 授業に多様な学習活動を取り入れ、4 技能 5 領域のバランスのとれた伸長と基礎・基本の定着を図る。</p> <p>指標 チャレンジテストの結果を府平均以上にする。（3 年） 各学期に 1 度以上「話すこと」のパフォーマンステストを実施する。（1・2 年）</p>	
<p>取組内容⑯【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（音楽科） 基礎的な能力を伸ばし、豊かな感性を養い表現力を高める。</p> <p>指標 授業はじめに基礎的な発声をおこなう。 全学年とも年に 5 回実技テストを実施する。</p>	
<p>取組内容⑰【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（美術科） 美術の鑑賞を通し視点を広げ、基礎的な技能の育成を図る。</p> <p>指標 授業アンケートの「興味関心意欲の向上」で「そう思う」の数値を 50 % 以上にする。</p>	
<p>取組内容⑱【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（保健体育科） 安全・安心を一番に考え、指示を守り、集団行動のできる学習集団の育成を図る。</p> <p>指標 授業アンケートの「興味・関心・意欲の向上」で「そう思う・ややそう思う」の数値を 1 回目より 2 回目を向上させる。</p>	
<p>取組内容⑲【施策 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】（技術家庭科） 身近な例を挙げながら生徒の興味関心を深め、基礎基本の技術を定着させる。</p> <p>指標 総授業数の 2/3 以上を実習時間とし、作業時間を確保する。 単元ごとに振り返りアンケート、小テストを実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>【年度目標】について</p> <div> <div>全市共通目標</div> <div> <div>学校園の年度目標</div> </div> </div>	
<p>【取組内容】について</p> <div> <div>①</div> <div>②</div> <div>③</div> <div>④</div> <div>⑤</div> <div>⑥</div> <div>⑦</div> <div>⑧</div> </div>	

⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
次年度への改善点	
【目標設定】について	
【取組内容】について	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	